



うばやま

No.9

令和7年9月1日

校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/kashiwai-sho>

子供たちへ！ ～あいさつと笑顔があふれる柏井小に～

数年前のできごとです。自宅そばに、おしゃれな飲食店がオープンしました。開店してすぐ家族で食事に出かけました。珍しい酒が飲め、料理も美味しいものでした。「また来てもいいね」と話して支払いをしました。でも、店を出るときに、誰も「ありがとうございました」と言ったり見送ったりすることなく、帰る客を気にする気配もありませんでした。忙しくてあいさつする暇がなかったという状況ではありません。ですから、当たり前のあいさつすらできない店には、もう来たくないという気持ちの方が強くなってしまったのです。家族も同じでした。だから、そのあと一度も足を運ばないままでしたが、数年後には閉店してカフェに代わっていました。

何気ないあいさつこそ、人と人の心をつなぐとても大事なものだと考えます。「ありがとうございました」というたった 11 文字、時間になると 2 秒くらいですが、これがその店、あるいは人柄の全てであるかのように評価されてしまう怖さがある気がします。

あいさつは、相手に対して「心を開いています」「あなたを大切に思います」という合図ではなでしょうか。逆に、あいさつがないのは、「心を閉ざし、存在を認めていません」というサインだと受け取ってしまい、残念な気持ちにさせてしまいます。

さて、1 学期の終業式で「一つのことを長く続けること」「^{ほんじてってい}凡事徹底」について話したことを覚えていますか。その一つとして、「気持ちのよいあいさつを続けてみませんか」と投げかけました。実践できましたか？今日はここまで何人の人に、相手の顔を見て、気持ちが伝わるあいさつができましたか？家族の中でもきちんと言えましたか？昨日まではどうですか？放課後保育クラブに入っている人はどうでしょう。サッカーや野球、剣道、バスケ、塾…。指導してくれる方に、始まりと終わりのあいさつが言えましたか。全て通じる基本です。「自分では言っているつもり」ではダメなのです。相手にきちんと声と気持ちが届いているかどうかがとても大事なのです。

今朝も、皆さんの安全を見守ってくださっている地域の方や保護者の方がいらっしまったと思います。あいさつに乗せて、感謝の気持ちを届けられていたらうれしいです。柏井小の今後の歴史を作るのはみなさんです。だから、自分も相手も気持ちよくさせる挨拶と、それに添えられた笑顔がいっぱいの学校がずっと続いていくように、2 学期の始まりの今日を新しいスタート地点と思って、頑張ってみてください。



今月の生活目標は、
「さわやかなあいさつ」ですよ



1	月	始業式 下校 11:35	16	火	千葉ジェッツスポーツ教室⑤
2	火	給食開始 4校時日課 下校 13:15	17	水	クラブ活動 ジャンボしゃぼん玉教室①
3	水	委員会活動 発育測定④⑤⑥	18	木	4校時日課 下校 13:15 (～22日)
4	木	発育測定①②③④⑥ 代表委員主催挨拶運動開始	24	水	校内授業研究会③⑥
6	土	市川市児童生徒科学展 (～7日)	25	木	サントリー水育④
10	水	定例研 下校 13:15	26	金	校外学習③、修学旅行保護者説明会
11	木	ティンカーベル読み聞かせ			

※丸数字は学年です

R7.6月 学校運営等に関する保護者アンケート結果			回答割合（回答率 72%）		
			肯定的 （＋）	否定的 （－）	わから ない
お子さんについて	1	お子さんは、友だちと「お互いの良さを認め合う」ような関係づくりができていますか。	84.1%	10.0%	6%
	2	お子さんは、目標を持って学習したり生活したりしていますか。	71.3%	27.5%	1%
	3	お子さんは、調べたことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味を持って学習に取り組んでいますか。	62.9%	35.5%	2%
	4	お子さんは、日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。	37.5%	60.6%	2%
	5	お子さんは、毎日の学習でタブレットを活用していますか。	39.4%	55.0%	6%
	6	お子さんは、運動やスポーツに親しんでいますか。	72.9%	27.1%	0%
	7	お子さんは、望ましい食習慣が身についていますか。	83.3%	16.7%	0%
学校について	8	学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる取組を進めていると思いますか。	87.6%	9.2%	3%
	9	学校には、一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制が整っていると思いますか。	69.3%	23.5%	7%
	10	学校は、体験活動を取り入れていると思いますか。	85.7%	11.6%	3%
	11	学校は、目指す子どもの姿や学校の経営方針について、保護者に理解されるよう努めていると思いますか。 (たよりやホームページ、メール等による適切な情報提供なども含む)	84.9%	14.3%	1%
お子さんについて	12	お子さんは、家庭学習の習慣が身についていると思いますか。	76.1%	23.9%	
	13	お子さんは、友だちや知り合いの人などに、自分からあいさつをしていますか。	78.1%	21.9%	
	14	お子さんの自己肯定感、あるいは自信が高まっていると思いますか。	76.5%	23.5%	



6月実施の第1回学校評価（保護者アンケート）の結果は、上の表のとおりです。

「4. 読書や調べ学習」あるいは「5. タブレット端末を活用した学習」についての肯定評価は、4割に満たない数値です。家庭でその姿が見られなかったり、学校での様子が伝わっていなかったりすることも低評価の原因と考えます。「見える化」が求められています。

また、「2. 目標をもって学習・生活」や「3. 興味をもって学習に取り組む姿勢」は、保護者の方と同じように学校での様子を見ても課題であるととらえています。普段の授業や算数科における校内研究などにおいて、児童の興味関心や意欲を引き出すための授業及びそのための研鑽が必要です。

さらに、児童の実態に応じた柔軟な支援や体制づくりにより、自分はかけがえのない存在であることを実感しながら自信を高められる学校でありたいと考えます。そのためには、家庭と学校とが今まで以上に信頼しあい、手を携えていくことが一番の近道かもしれません。挨拶も含めて！

